

令和7年度 倫理審査委員会の審議課題一覧・審議内容

○委員会審議：令和7年10月3日

《審議内容》

申請者	副看護師長	福場 聖子
課題名	【R7-6】 呼吸ケアサポートチームの10年間の歩みと課題	
概要	RST活動における約10年間の介入実績と内容の変遷を振り返り、RSTの変化と慢性期介入の成果と今後の課題を明らかにする。	
判定	承認	

○委員会審議：令和7年10月7日

《審議内容》

申請者	看護師	田中 祐佳
課題名	【R7-8】 重症呼吸不全患者の自宅退院に向けた支援～退院調整看護師編～	
概要	一時退院をし、最後の年末年始に向けた退院の評価を行った。退院調整看護師として在宅でのリスクを低減するための最大限のサービスを提案したが、他者との関りを最低限にしたいと希望があり、希望に沿った退院調整を行った。	
判定	承認	

○委員会審議：令和7年10月15日

《審議内容》

申請者	臨床研究部長	足立 芳樹
課題名	【R7-10】 頸部内頸動脈狭窄症の狭窄進行に関するパロキチセンの効果についての後ろ向きコホート研究	
概要	頸部内頸動脈狭窄症例におけるパロキチセン内服の有無と頸動脈エコー検査による面積狭窄率の進行度の関係について後ろ向きコホート研究により検討する。	
判定	承認	

○委員会審議：令和7年10月28日

《審議内容》

申請者	看護師	田邊 沙奈恵
課題名	【R7-9】 「入退院支援加算1・入院時支援加算1の確実な取得に向けての取り組み」	
概要	入退院支援加算1に関するポスターを作成し配布。また、お薬手帳持参のポスターを作成し、外来の待合室に掲示、会計時医事より『お薬手帳をご持参ください』と記載した用紙を患者一人ひとりに配布した。入退院支援加算1・入院時支援加算1の取得に繋げ意識づけとなったことを明らかにする。	
判定	承認	

○委員会審議：令和7年10月28日

《審議内容》

申請者	診療部長	渡辺 保裕
課題名	【R7-11】 視運動、音声を用いた神経疾患の評価	
概要	小脳や錐体外路の障害を起因とする神経変性疾患や、認知症疾患を対象に、研究対象者の視運動の滑動性および衝動性の定量評価が、これらの各神経疾患の診断補助データになり得るかどうかの探索的検討を行う。	
判定	承認	

○委員会審議：令和7年10月28日

《審議内容》

申請者	診療部長	渡辺 保裕
課題名	【R7-12】 筋委縮性側索硬化症、前頭側頭型認知症の認知・行動調査	
概要	小脳や錐体外路の障害を起因とする神経変性疾患や、認知症疾患を対象に、研究対象者の視運動の滑動性および衝動性の定量評価が、これらの各神経疾患の診断補助データになり得るかどうかの探索的検討を行う。	
判定	承認	